

学校新聞



<第53号>

東 陽

編集・発行

豊橋市立東陽中学校

〒440-0022

豊橋市岩崎町字野田1-2

TEL(0532)62-8116

touyou-j@toyohashi.ed.jp



未知なる未来へ〜未来を自らの手で切り拓き

よりよく生きる生徒の育成を目指して

校長 佐野 裕哉

全校生徒数526名で、令和8年度の教育活動がスタートしました。多くの生徒が、「自分自身を変えていこう、伸ばしていこう」という思いを新たに、新年度を迎えることができています。令和8年度も「地域とともにある学校を目指し、自らの未来を切り拓く資質・能力を備えた人間豊かな生徒を育成する」を教育目標とし、今だけではなく、未来を見据えて自分を高めることのできる生徒の育成を図っていきたくと考えています。ことあるごとに生徒に伝えているのは「未来の自分は今の自分が創る」という言葉です。今の積み重ねが未来の自分へとつながっていくことを意識し、未来の自分が後悔しないように毎日を過ごしてほしいという願いで、この言葉を何度も繰り返しています。

中東情勢の不安定さを起因とする物資の不足や物価の高騰、国同士の軋轢による戦争や紛争の拡大が不安視される世界情勢など、先行き不透明な時代であると感じます。それでも、未来を担う生徒たちには、目の前に現れる難題を仲間と力を合わせて乗り越えて、よりよく生きていける力を蓄え、明るい未来を切り拓いていってほしいと願います。そのためには、必要な資質や能力、豊かな人間性、社会性やコミュニケーション能力など、社会を生き抜く基盤となる力を中学校生活の中で高めていきたいと考えます。その力は、地域の皆様や保護者の皆様と一緒に育むことが叶わないと考えているため、「地域とともにある学校」という目標を掲げ、地域や保護者の皆様とともに、生徒の成長を支えていきたいと考えています。本年度も、地域の皆様や保護者の皆様の声を聞いて教育活動を見直すことを通し、教育活動の充実を図っていきたく思います。

地域の皆様や保護者の皆様には、日頃から東陽中学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、職員一同、心より感謝しております。今年度も、皆様のご支援を賜りながら、よりよい東陽中学校の実現やよりすばらしい東陽中学校生徒の育成を目指したいと思います。よろしくお願いいたします。

令和 8 年度 豊橋市立東陽中学校グラウンドデザイン

学校スローガン
ALL FOR ALL
~つなげ東陽魂~



- 自ら知識を求め、探求のできる生徒
- 自ら自然と人を愛し、協力のできる生徒
- 自ら困難に立ち向かい、心身をきたえる生徒

学校経営の方針

① よりよく問題を解決する
資質や能力を育成する

② 道徳性を育み、心のふれあいを基盤とする集団作りを進め、共生を意識した学校づくりをする

③ キャリア教育 (社会的・職業的な自立能力や判断力, 実践力の育成) を推進する。

④ 安全・安心な教区環境づくりに努め、自他の命を大切にする意識の醸成を図る。

⑤ 「チーム東陽」としての組織力を強化し、生徒・保護者・校区から信頼される学校づくりに努める。



地域とともにある学校を目指し、自らの未来を切り拓く資質・能力を備えた人間性豊かな生徒の育成

学校教育目標

合言葉 東陽中学校を、より「魅力ある学校」に

重点努力目標と具体策	重点努力目標と具体策	重点努力目標と具体策	重点努力目標と具体策	重点努力目標と具体策	重点努力目標と具体策
課題解決能力の育成	基礎学力の向上	集団づくり	心の育成	自分らしい進路選択力の育成	職業観、労働観の育成
・タブレットの効果的活用	・少人数指導等、個別指導の充実	・「居場所づくり」の実践	・道徳の授業の改善と充実	・生き方を考える活動と学習の充実	・福祉体験、職場体験の実施
・主体的に対話的な学習活動の実践	・学習課題、学習活動の適正化	・生徒主体の活動の推進	・イーストさんタイムの実施	・進路説明会、学校説明会の活用	・学級活動での職業学習の充実
・個別最適 & 協働的な学びの充実	・教科コンクールの実施	・協力、団結を意識した活動の実施	・相談活動の充実	・個別の進路指導の充実	・キャリアパスポートの活用
重点努力目標と具体策	重点努力目標と具体策	重点努力目標と具体策	重点努力目標と具体策	重点努力目標と具体策	重点努力目標と具体策
地域づくり	安全な教育環境の確保	命の尊さを伝える教育活動の充実	災害時の安全確保	社会人としての資質や能力の育成	社会人としての資質や能力の育成
・地域、保護者との情報共有の充実	・いじめの未然防止、早期発見と対応	・命に関する講演会等の実施	・避難訓練の多様化と充実	・「みそあじ」の徹底	・「みそあじ」の徹底
・地域行事への参加の推奨	・事故やけが防止の指導の充実	・道徳教育の充実	・災害時の対応を考える場の設定	・道徳的判断力・実践力の育成	・道徳的判断力・実践力の育成
・地域ボランティアの活性化	・施設、設備の安全点検の徹底	・学校ののちの日関連指導の充実	・地域の安全確認の実施	・校外での学習や活動の推進	・校外での学習や活動の推進
・外部意見の謙虚な受け入れ				・きまり、約束事を守る態度の育成	・きまり、約束事を守る態度の育成
「チーム東陽」組織強化	教育の力量向上	地域づくり	安全な教育環境の確保	命の尊さを伝える教育活動の充実	災害時の安全確保
・学生集団のつながりの強化	・生徒との信頼関係の構築	・地域、保護者との情報共有の充実	・いじめの未然防止、早期発見と対応	・命に関する講演会等の実施	・避難訓練の多様化と充実
・情報共有と行動連携の充実	・現職研修の充実と授業力の向上	・地域行事への参加の推奨	・事故やけが防止の指導の充実	・道徳教育の充実	・災害時の対応を考える場の設定
・全職員による協働体制の確立	・学校評価をいかした活動の推進	・地域ボランティアの活性化	・施設、設備の安全点検の徹底	・学校ののちの日関連指導の充実	・地域の安全確認の実施

【令和 8 年度 職 員 紹 介】

職 名	氏 名	担当教科	職 名	氏 名	担当教科
校 長	佐野 裕哉	国語	3年主任	玉越 圭	保体
教 頭	齋藤 禎一	保体	3年1組	熊谷 一規	理科
教 務	鈴木 裕二	数学	3年1組	岩田 祥太朗	英語
校 務	竹内 慎一郎	技術	3年2組	生田 健悟	社会
養教(臨)	服部 恵子		3年2組	山本 裕美	英語
主 任	渋谷 佳佑		3年3組	矢島 光香子	美術
教 諭	坂田 英理	国語	3年3組	夏目 真梨英	社会
用務員	鈴木 千尋		3年4組	赤井 凜	数学
1年主任	山田 千鶴子	保体	3年4組	高木 裕美	英語
1年1組	寺岡 裕紀	数学	3年5組	白井 優菜	国語
1年1組	加藤 文規	数学	3年5組	榊原 健二	英語
1年2組	吉川 千尋	音楽	特支主任	山田 桂司	理科
1年3組	森下 茉弥	国語	7組	羽田野 慎之介	数学
1年3組	小柳津 和義	技術	8組	見広 香奈恵	家庭
1年4組	高木 雄輝人	社会	9組	福井 志津江	保体
1年4組	神藤 彩奈	家庭	通級	白井 理恵	音楽
1年5組	丸地 一樹	英語	拠点指	芳賀 俊行	理科
1年5組	小川 恭典	理科	非常勤講師	大場 和子	数学
2年主任	大須賀 浩	保体	非常勤講師	川添 みちよ	英語
2年1組	近藤 もも	社会	A L T	フリラス・カロリーナ	英語
2年2組	飯田 智大	英語	教育相談員	小田 キミエ	
2年2組	菊池 夏実	国語	教育相談員	伊藤 クリセル	
2年3組	高津 泰地	国語	S A	ダイト マイコ	
2年3組	原田 直子	家庭	S C	望月 有花	
2年4組	佐藤 滉生	保体	図書館司書	足木 亜矢子	
2年4組	竹下 菜月	理科	給食従業員	藤原 由美子	
2年5組	川村 紘也	数学	給食従業員	谷 利枝	
2年5組	杉山 誠	理科	校務支援員	大岩 宏美	

<p>令和 8 年度</p> <p>10 月までの 主な行事予定</p> <p>【4月】 9日 入学式・始業式 24日 P T A 総会 授業参観</p> <p>【5月】 7・8日 一年オリ合宿 18・19日 第一定期テスト 23日 部活動保護者会 資源回収(持ち寄り)</p> <p>【6月】 2日 三年修学旅行 (4日)</p> <p>17日 豊橋・学校のちのちの日 18日 第二定期テスト (19日)</p> <p>【7月】 6日 保護者会 持ち寄り資源回収 (8日)</p> <p>【8月】 3日 全校出校日</p> <p>【9月】 1日 始業式 10・11日 第三定期テスト</p> <p>【10月】 9日 東陽祭(体育祭) 30日 東陽祭(文化祭) 合唱コンクール</p>
--

各学年の抱負

一年生

学年目標「トウヨウ アスレチカ」を掲げ、私たちは希望あふれる176名の、新たな東陽中生と出会うことができました。『トウヨウ』には「仲間を大切に思う心」を、『アスレチカ』には「たくましく強く」という意味が込められています。緊張の面持ちだった入学式から2か月が経ち、あどけなきの中にも中学生としての自信と誇りが少しずつ見えてきました。その大きな要因は、5月初めに行われた1泊2日のオリエンテーション合宿です。「みんなで力を合わせて最高の思い出を ALL FOR ALL」をテーマに、一人一人が自分の役割を果たすべく、班で、学級で、そして学年で、全力で取り組むことができました。体育の授業で、二年生から東陽体操を教わり、先輩の優しさや頼もしさに触れました。また、結団式では、三年生が集団を導く姿から、2年後の自分たちのあるべき姿を感じ取ることができました。子どもたちは学校生活のあらゆる場面で刺激を受け、素敵な東陽中生になろうと自分を磨いています。学年職員も力を合わせ、その支えとなるよう、努めてまいります。

二年生

新学年が始まり、二年生としての学校生活も少しずつ軌道にのってきました。教室や廊下で

見せる表情には、昨年度よりもたくましさを感じられ、先輩としての自覚が芽生えてきていることを嬉しく感じます。

今年度は総合的な学習の時間に「働くこと」について学習していきます。社会の中で人ごどのような思いをもって働いているのか、自分は将来どのように社会とかわつていきたくのかを考える大切な機会です。職場体験学習では、学校生活では得ることのできない貴重な経験を積むことができます。仕事のやりがいや責任、人とのつながりを実感することで、自分の将来を見つめるきっかけになることとしましょう。

中学二年生は、自分の進む道を少しずつ見つけ始める時期です。さまざまな経験を通して、自ら考え、仲間とともに未来を切り拓いていってほしいと思います。学年職員一同、生徒たちの成長を全力で支えてまいります。

三年生

今年を受験生。この言葉を何度も耳にするようになりました。進路を決める大事な一年。わかつてはいるつもりでもなかなか行動に移すことができない。何をしたらよいか。そんな気持ちが膨らんで不安な気持ちの生徒も多々います。

今やらなければならないことは、ふだんの生活をいつも以上に一生懸命過ごすことです。勉強も部活も以上に真剣に向き合っていくことではないかと思えます。

2019年にラグビーワールドカップが日本で行われました。強豪国を破って初の決勝トーナメント出場となったこの大会で、選手たちがインタビューでことあるごとに口に

ていた言葉があります。それは「準備をしてきた」という言葉です。前回のワールドカップから四年間、選手たちは多くのことを犠牲にしてこの大会に臨んでいました。だから後はそれを信じて試合をするだけの状態でした。この一年、高校入試をがんばるのではなく、先を見越して、そこに向かうまでの準備をがんばるようになっています。新しい学年になって気持ちを新たに生活している子どもたち。長い一年ですが、そんな心の炎を灯し続けられるように激励し続け、きたるべきその日を迎えられることを願っています。

今こそ本場の『ONE TEAM』で、どんな困難にも立ち向かい、一人一人の未来に向けてトライをできると信じています。

学校評議員会

学校評議員会は地域の各種団体の方に学校の様子や学校の運営についてご意見をいただく、よりよい学校運営を行っていくこうとするための大切な会議です。本年度も年二回開催します。よろしくお願ひします。

左記が、本年度の評議員の方々です。よろしくお願ひします。

久良二哲吾 春
 彰淳敬晋 千
 本藤大木 山本 采女
 川山安大 山本 采女

【敬称略】